

自分の力を信じ、最善を尽くせ ～受験シーズン 始まる～

◇就職受験生徒激励会 令和4年9月13日(火)

◇進学受験生徒激励会 令和4年9月22日(木)

○内定獲得に向けて健闘誓う ～就職受験生徒激励会～

就職試験を目前に控えた生徒向けに9月13日(火)、就職受験生徒激励会を開催しました。16日から始まる就職試験に臨む3年生16名が参加しました。

はじめに、塩莉裕之校長が「試験では自分の力を信じ、最善を尽くしてください。今まで経験したことのないような努力を今日まで続け、君たちはそれらを通じて確実に成長しました。だから自分に自信を持っていいのです。面接では元気さを表してください。ハキハキした言葉と動き、そしてキラキラした瞳(め)。もう一つは自分に負けないこと。つまり、緊張している自分に打ち勝ってください。みなさんの健闘を祈っています」と、激励のことばを送りました。次に五十嵐キャリア・カウンセラーから、「目で勝負。目を見れば、真剣かどうかがわかる。目で伝えてください。それが面接官に伝わる。言葉は詰まってもいい。誠実な返事をすればよい」と受験の心構えがありました。

最後に、小田島颯太君(3A)が生徒16名を代表して挨拶に立ちました。就職活動に関わった先生方への感謝を述べたあと、「よし、がんばろうと、内定獲得の思いを一層強くしました。ここにいる仲間たちと最後まで努力することを誓います」と、決意を述べました。



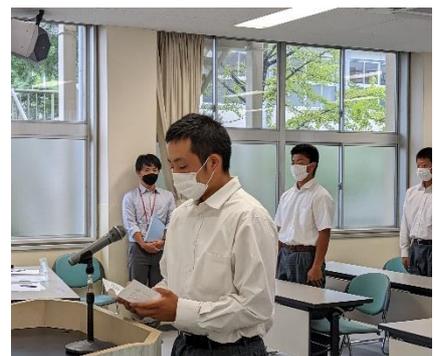
就職受験生徒激励会(9月13日)

○夢や目標に向かって、大学・専門学校合格を目指す ～進学受験生徒激励会～

大学や専門学校など、進学を希望する3年生向けに9月22日(木)、進学受験生徒激励会を開催しました。

塩莉裕之校長が「自分で自分のルールを敷かなければいけないという強い思いを持ってほしい。今年の24時間テレビで、障害のある人たちが、『できない』ではなく、『私はできる』と一生懸命に練習に取り組み、本番に臨んでいる姿に感動した。『私はできる』と思わないと前に進めない。今できることは何なのか。それに精一杯取り組んでほしい」と述べ、「受験は甘いものではない。粘り強く、自分の力を信じて頑張ってください」と生徒を励ました。

これを受けて村澤樹君(3C)が生徒29名を代表し、「たくさんの先生方に叱咤激励をいただき、感謝します。校長先生の言葉を伺い、合格への思いを強くしました。頑張ります」と述べ、これまでの努力が実を結ぶよう、決意を新たにしました。



決意を述べる村澤君